

令和4年度瀬田学区総合防災訓練

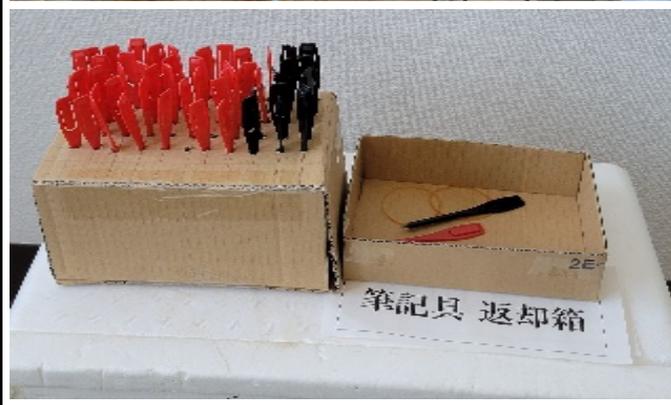
実施日時:令和4年9月10日(土) 午前9開始 午前12時終了

実施場所:瀬田小学校体育館・中庭・グラウンド・瀬田幼稚園園庭

- ・本年度は、新型コロナ感染者が毎日県下2000名を超える日々の中での準備作業となったが、昨年度中止を余儀なくされたこともあり、何としても実施をするとの意気込みで、徹底した感染防止対策と関係各位の応援により実施に漕ぎ着けることができた。
- ・また参加者についても、各自治会の防災関係者並びに瀬田学区自主防犯防災会の役員のみでの参加という制限を設けての実施とした。
- ・参加人数は、自治会関係者及び自主防役員で64名、及び東消防署・消防団・大津市危機防災対策課等の皆様14名の応援を頂き、総勢78名による訓練となった。
- ・訓練内容の主な項目は、講演2題と実演4題の構成で実施され、特に実演についてはコロナ感染予防の為、参加者を4班に分け(12～13名/班)、実演4題を順次体験する方法とした。

①午前8時より防災士16名による事前準備。

今回は非接触型のスタンド検温計を採用し、筆記具についても接触に配慮した。



②午前9時開始

- ・瀬田学区自主防犯防災会会長の挨拶
- ・瀬田学区防災士会会長の挨拶
- ・大津市東消防署署長の挨拶
- ・大津市消防団瀬田分団長の挨拶を頂戴した。

瀬田学区自主防犯防災会会長挨拶



瀬田学区防災士会会長挨拶



③ 講演1

講師:大津市危機・防災対策課主事

演題「避難所初動対応(本部等設置のタイミング)」

準備を頂いた資料に基づき、スライドを併用し説明を受けた。



④ 講演2

講師:東消防署消防第2課係長

演題「大津版災害時ファーストコンタクト(出火と余震による被害を防ぎ、助けられる命は今助ける)」

スライドで安全管理・服装・危険排除・捜索活動・救出活動の内容の具体的説明を受けた。



⑤ 実演1 【心肺蘇生措置体験】

指導:東消防署救急隊員

A:心臓マッサージ(胸骨圧迫)を、各班全員が体験した。

B:AEDについては、器具で具体的な説明を受けた。(瀬田小学校体育館)



⑥ 実演2 【テント組立体験】

指導:大津市危機・防災対策課

避難所用テントの組立体験を2人1組で行った。又、組立後は夫々折り畳み格納迄を一連の訓練として体験した。(瀬田小学校体育館)



⑦ 実演3 【消火栓操法】

指導:消防団瀬田分団

瀬田小学校のグラウンドをお借りして実施した。自主防犯防災会所有の模擬消火栓(トレーニングキャメル)を使用して、取扱方法と注意点について説明を受けた。

時間の関係で、各自が具体的に消火栓に触れることはできなかったが、自主防犯防災会の所有であることより、本指導をきっかけとして各自の使用を促したい。(瀬田小学校グラウンド)



⑧ 実演4 【起震車体験】

起震車指導:東消防署

今年度は蜜を避ける為、実演は4班に分け実施した。結果的に余裕をもって起震車体験ができたように思う。使い捨てポリエチレン手袋の使用により、都度の接触部分の拭き取り手間が省かれ効率よく体験できたと思う。(瀬田小学校中庭)



【トレスキューによる造水飲料水の試飲】

機器点検及び稼働指導:(株)トレスキュージャパン

災害用小型造水機(通称トレスキュー)の年1回の保守点検に合わせ、稼働実演と試飲を実施した。原水は幼稚園のプールの水を利用し、飲料水になるまでの説明を受け試飲をした。実演では原水に食塩を加え海水に見立て、有害物のほか塩分も除去された飲料水であることも確認できた。(瀬田幼稚園園庭)



⑨ 災害時ドローンの紹介

前年度及び今年度初頭に3名がドローン操縦者講習に参加しライセンス取得した。自主防犯防災会として、将来の災害時に備えるためドローン本体の保有に踏切り、本日体育館内でテスト飛行を実施した。(瀬田小学校体育館)



⑩ 訓練終了挨拶

瀬田学区自主防犯防災会副会長

令和4年度学区総合防災訓練終了の挨拶

